

学校関係者評価委員会よりの報告を受けて

日頃より本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。さて、学校関係者評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果と本校職員の自己評価を審議していただき、学校関係者評価委員の方々より「学校関係者評価委員会報告」を受けました。その報告書をもとに改善方法を検討し、以下の各項目を改善策として令和6年度の教育活動に反映させていくことをお知らせします。今後とも、学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。なお、回答率の算出には、「とても思う」「思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5項目を総数として計算しております。肯定回答率は「とても思う」「思う」の合計、否定回答率は「あまり思わない」「思わない」の合計です。
(肯定回答率 + 否定回答率 + 「わからない」の回答率 = 100%)

Ⅰ 重点目標について

1 令和5年度の重点目標への取り組みと課題について

(1) 『基礎的な知識や技能を習得させ、主体的に課題を解決する能力を育成する。』

生徒アンケートの『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。』の肯定回答率は、88.4%と高い水準にありました。また、『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』の生徒肯定率も84.8%で、高い数値となっております。

教職員アンケートの『本校(私)は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業をしている。』の肯定回答率は92.3%と高く、教員は主体的に課題を解決する授業に取り組む姿勢があることが伺えます。

保護者アンケートの『本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業をしている。』の肯定回答率は70.5%で、否定回答率は9.0%でした。「思わない」と回答された方は2.3%と低位を維持しております。「わからない」の回答割合が20.5%と約2割を占めております。学校公開への参加を呼びかけ、お子様の授業の様子を参観していただけるよう取り組んでまいります。

生徒自身が取り組んでいるかどうかについては、『わたしは、意欲的に学習に取り組み、よく考えようとしている。』の生徒アンケートで読み取りました。生徒の肯定回答率は79.1%で昨年度より0.8%下回りましたが、否定回答率は16.6%で昨年度より1.3%上回りました。意欲的に取り組んでいることの実感が持てるように、ほめて伸ばす教育をさらに実践していきます。

(2) 『自律と自信を大切にし、コミュニケーション能力を育成する。』

生徒アンケートの『私は、富士中の一員として、よりよい学校生活や人間関係を築こうとしている。』の肯定回答率は88.3%と、高い数値を示しています。また、『私は、ルールを重んじ、他者を思いやろうとしている。』の肯定的回答率は89.7%で前年を5.2%上回りました。自らを律することや他者とのコミュニケーションの大切さの理解や意識は育まれていると思います。「自律」と「貢献」を意識した富士中プライドの醸成を地域と連携したボランティア活動や体験活動等への取り組みで一層育んでまいります。自律に関する生徒アンケートの『私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。』、『先生は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。』、『私は、先生が指導した学校での過ごし方やルールについて理解できる。』の肯定回答率は、それぞれ87.6%、83.8%、86.9%と高く、否定回答率は、それぞれ8.5%、10.9%、8.2%と約1割にとどまっております。集団生活において一人一人がルールを守ることによって秩序を保ち、安心して生活できる場を作っていくとする本校生徒の姿勢がアンケートにも反映しております。教職員アンケートの『本校の生徒は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。』、『私は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。』、『本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解していると思う。』の肯定回答率は、それぞれ84.6%、100%、92.3%と生徒よりさらに約1割高い数値を示しています。一方、保護者アンケートの『本校は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。』、『本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。』の肯定回答率はそれぞれ68.8%、70.5%で、否定回答率はそれぞれ20.4%、17.1%で約2割に及んでいます。この結果から、約1割の生徒が教員との意識のずれがあり、約1割のご家庭で、生徒と保護者の見解の相違があることが伺われます。学校、保護者が共に連携して、生徒の気持ちや意識を理解することを大切にしていきたいと思います。

(3) 『安全や心身の健康への意識の向上と教育相談の充実に努める。』

生徒アンケートの『私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。』の肯定回答率は68.6%、否定回答率は26.5%でした。保護者アンケート『子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。』の肯定回答率は71.6%・否定回答率は19.9%でした。体力の向上や健康についてご家庭の協力得ながら、必要な取り組みを生徒が具体的に行動できるように支援していきたいと思います。

生徒アンケートの『先生たちは、生徒が相談しやすい。』の肯定回答率は63.3%で、否定回答率が28.2%と約3割の生徒が先生に話しにくいと思っています。保護者アンケート『本校は、子どもや保護者が相談しやすい。』の肯定回答率は65.3%で、否定回答率は23.9%でした。教職員アンケート『私は、子どもや保護者が相談しやすいように接している。』の肯定回答率は100%でした。大きな意識の差の原因を見つけ、教職員の接遇対応の改善を進めていきます。

学校の安全性については『本校は、安全な学校づくりを進めている。』の肯定回答率は保護者64.8%、地域100%でした。定期的な避難訓練の実施や避難所訓練の生徒ボランティアの参加など、安全教育に取り組んでいきます。

2 令和6年度の本校の重点目標について

令和6年度は、本校の重点目標以下のように作成しました。キーワードと評価指標を記載いたします。

(1) 人権尊重の教育を基盤に多様な個性がいかされる教育の推進を図る

○生命尊さ ○自己の心身の健康や安全 ○安全教育 ○人間関係形成能力 ○自己効力感 ○インクルーシブ教育

【評価指標】 「私は、富士中の一員として、よりよい学校生活や人間関係を築こうとしている。」(生徒)

「わが子は、富士中の一員として、よりよい学校生活や人間関係を築こうとしている。」(保護者)

「富士中は地域から愛される学校として成長していると思う。」(地域)

(2) よりよい教育を通してよりよい社会を創るため「社会に開かれた教育課程」を実現する

○カリキュラム・マネジメント ○学び舎の連携 ○自らを律する態度と行動力 ○地域社会と協働した教育

【評価指標】 「総合的な学習の時間で学んだことは、自分の生活や将来に活かせると思う。」(生徒)

「外部講師による授業は、視野を広げることにつながり、良い取り組みだと思う。」(保護者)

「外部講師による授業は、視野を広げることにつながり、良い取り組みだと思う。」(地域)

(3) 「キャリア・未来デザイン教育」の実現を図る

○「せたがや探究的な学び」 ○探求のサイクル ○言語に関する能力 ○キャリア・パスポートの活用

【評価指標】 「自分の進路や将来の仕事について考える授業がある。」(生徒)

「本校は、子どもの自分の進路や将来のことについて考える授業がある。」(保護者)

(4) 教育デジタルトランス・フォーメーション(DX)の推進を実現する

○タブレット端末の活用 ○「主体的・対話的で深い学び」 ○学習習慣 ○生徒自身による学び方の工夫

【評価指標】 「先生は、課題について、自分で考えたり、友人と考えたりする時間を授業の中で取っている。」(生徒)

「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業をしている。」(保護者)

(5) 教職員のパフォーマンスを最大限に生かす学校を構築する

○「働き方改革」の促進 ○時間を厳守する習慣 ○授業準備や評価材料の精選 ○部活動地域移行の推進

【評価指標】 「先生たちは、生徒が相談しやすい」(生徒)

「本校は、子どもや保護者が相談しやすい。」(保護者)

「私は、子どもや保護者が相談しやすいように接している。」(教員)

II 家庭・地域との連携・協働による教育について

本校は地域との協働による教育が盛んです。青少年代沢地区委員会の皆様や青少年池尻委員会の皆様のご協力のもと実施される「古着回収」、「地域清掃」などの各種ボランティア活動や「あいさつ運動」で、地域愛や自己肯定感、責任感を養ってまいります。富士中学校避難所運営訓練では、昨年度数年ぶりに一般の地域の方も参加されましたが、今年度は生徒がボランティアとして参加いたしました。今後も安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

III 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進

学び舎の教職員の交流の「小中交流会」では、他校の授業を見学し合同の研究会を催して、9年間での児童・生徒の学びを系統的・継続的に行うことを協働して行っています。池之上小学校の児童の本校見学や、小中クリーン作戦での本校生徒の小学校での活動など、児童・生徒の交流を図っております。学び舎の他校・園との交流による「SDGs教育」などでの地域との交流などの生徒の活動を行っております。このような活動を継続して行っております。また、保護者の皆様にこれらの活動についてご存じいただけますよう、より一層お知らせしていきたいと思っております。

IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

「富士中は、地域から愛される学校として成長していると思う。」の地域の方の肯定回答率は、昨年同様100%と高い数値をいただきました。教員の肯定回答率も100%でした。生徒をよりよく育てたいという気持ちの表れと解釈します。

「富士中生の一員として、より良い学校生活や人間関係を築こうとしている。」の肯定回答率は、生徒88.3%、保護者88.1%、教員100%でした。皆様に愛される富士中学校であり続けるよう誠意をもって対応していきたいと思っております。

V 学校評価委員会の総合所見

教職員が学校、クラスでの生徒の様子に気を配り、思いやりのあるあたたかな声掛けを常に行い、生徒が和やかで楽しい教室環境の中で毎日を過ごすことで、まっすぐに人格を磨いていくことができるようにしたいと考えております。教職員の生徒への言葉遣いをより丁寧にし、諭す指導を行うことで、生徒や保護者が相談しやすいと感じる教員の育成を図ってまいります。「生涯にわたって幸せな人生を歩むことができる生徒の育成」をめざし、教育活動を充実するとともに、生徒の成長を実感していただける機会をより多く生み出していきたいと考えております。

「学校生活は楽しい。」の肯定回答率は、生徒86.2%、保護者79.6%、教員100%でした。「学校行事は楽しい。」の肯定回答率は、生徒92.6%、保護者91.5%、教員100%、地域アンケート「学校行事の内容は充実している。」の肯定回答率は83.4%でした。行事については概ね良い評価でした。学校生活全般については、一人一人の子どもに目を向け、その良さを伸ばし、生徒主体の学校教育・学校行事に取り組んでまいります。今年度は、地域の皆様にご来校いただく機会が昨年度より増やすことができました。今後も、本校生徒の成長や活躍を見に来ていただけるようになりますことを願っております。